

## 1 全線の被害状況の確認

- ・線路、設備の点検
- ・土木構造物(橋、トンネル、高架橋、電柱等)の点検
- ・電気設備(架線、信号設備等)の確認



異常があれば復旧作業

## 2 電力回復後

1. 停電中、鳴動継続となっていたため、使用を停止していた踏切の復旧作業実施(例:手稲～新千歳空港間22箇所)
2. 運転を再開する区間すべての踏切動作確認を現地で1つずつ実施(例:手稲～新千歳空港24箇所)
3. 必要により、試運転実施(実際の車両による確認)
4. 運転再開

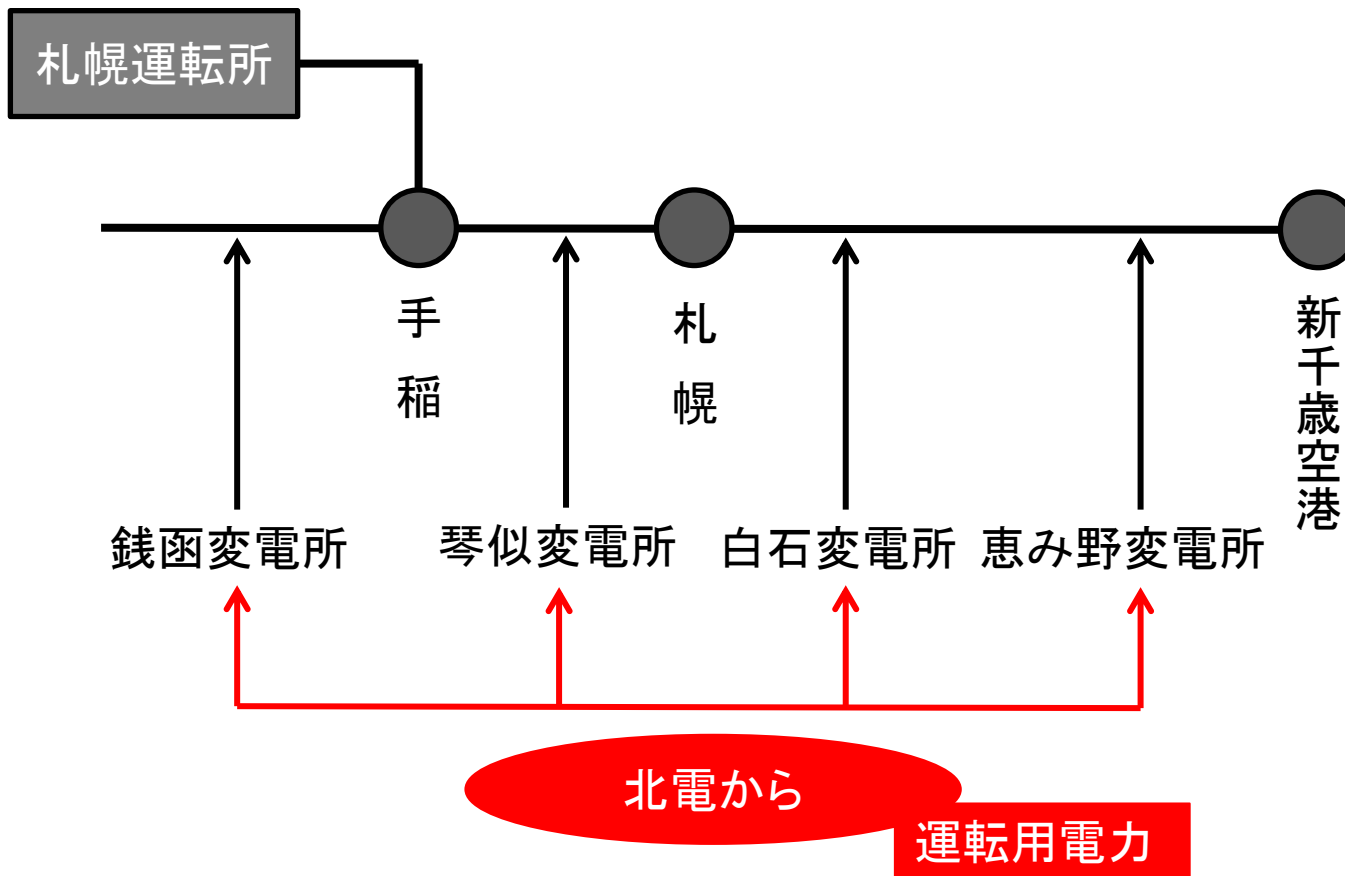
## 3 車両の確保

- ・車両留置箇所・状況の確認(例:小樽、手稲、札幌、岩見沢、苫小牧等)
- ・仕業検査残日数の確認
- ・使用可能車両の決定、確保

# 札幌～新千歳空港間の快速エアポートを運転するためには①

4つの変電所すべてに電力が供給されること

※電車動力電源、信号設備、通信機器装置等の電源



## 札幌～新千歳空港間の快速エアポートを運転するためには②

お客様がご利用される7駅(最低限)と車両基地(札幌運転所)、すべての電力が確保されていること

※駅舎・ホーム・車庫の照明、自動改札機、自動券売機、検修設備・動力等の電源

